

警察署協議会議事録

協議会名	令和8年第1回宮城県南三陸警察署協議会
開催日時	令和8年2月18日（水）午前9時30分から午前10時20分まで
開催場所	宮城県南三陸警察署大会議室
出席者等	<p>1 協議会委員 佐藤信一会長、舘寺俊明副会長、須藤さゆり委員</p> <p>2 警察署側 署長、次長兼警備課長、警務会計課長、警務会計課課長代理、生活安全課課長代理、刑事課長、交通課長、警備課課長代理</p>
議事概要	別紙のとおり
備考	

1 報告事項等

(1) 速度取締りの指針について

交通課長から南三陸警察署における交通事故実態や重点区域の設定等について説明がなされた。

【委員】

最近県内では、交差点での事故が多く、死傷者も出ている。年度末から年度初めは人や車の往来が激しい時期となるので、今以上に抑止力のある交通指導取締りを実施して欲しい。

【交通課長】

昨年の南三陸町は、10月に次いで3月が交通事故の発生が多くその理由として、年度末から新年度にかけては忙しく動く時期に加え、土地勘がないことも原因であると思う。

警察では、速度取締り以外にも一時不停止などの交差点関連違反の取締りやレッド警戒などの見せる警戒を実施し、事故防止に努めていく。

(2) 警察職員の採用活動について

署長から警察職員の採用募集活動について説明がなされた。

【委員】

警察官への憧れが芽生えるように、中高生の職場体験や祭りなどの各種イベントに積極的に参加してもらいたい。

【警務会計課課長代理】

去年は、学生の職場体験や南三陸オープンポリスという学生や就活生向けの警察業務の説明会を実施してきた。

今後は、若者に感心を持つコンテンツなどを柔軟に取り入れるほか、小中学生などの子供が憧れる警察官の姿を見せていき、将来の受験希望者の確保を推進していく。

(3) 特殊詐欺の被害防止対策について

署長から特殊詐欺の被害防止対策について説明がなされた。

【委員】

特殊詐欺の被害者の年齢層はどうなっているのか。

【生活安全課課長代理】

当署管内の過去3年間の被害者年齢層は、30歳代から70歳代となっており、県内でも10歳代から80歳代までが被害に遭っており、特定の年齢に関係がなく被害に遭っている状況である。

2 意見・要望等

各委員から、次の意見がなされた。

(1) 信号機の移設後について

【委員】

他県で「信号機を撤去したら、事故が多発した」との新聞記事が掲載されていたが、昨年末に移設したハマレ歌津前の信号機に関して、移設前後で何か影響があったか教えて欲しい。

【交通課長】

現在までハマレ歌津前の信号機の移設に関して苦情等は入っておらず、移設後の交通事故も発生していない。

また、移設後は、通過する車両のスピードが落ちたなどの話も出ており、一定の効果が出ていると思う。

(2) 東日本大震災の行方不明者捜索について

【委員】

昨年、震災遺骨の返還があり、各地でも捜索を求める声が多くなったと聞かすが、今後の捜索の方針について聞きたい。

【警備課課長代理】

県警察としては、行方不明者家族、自治体等からの要望又は情報に基づき、柔軟かつ効果的な捜索を実施する方向で検討している。

また、本年も3月上旬に行方不明者捜索を実施する方向で検討している。

3 次回の開催連絡

【警務会計課課長代理】

次回の警察署協議会の開催は、令和8年7月ころの開催を予定している。